

2011（平成 23）年 3 月 11 日（金）に発生した東北地方太平洋沖地震と、それに伴って発生した巨大津波、その後の余震を含めた大規模地震災害を、「東日本大震災」という統一名称で呼びます。この地震災害は福島第一原子力発電所の事故も引き起こしました。



（写真提供：陸前高田市まちづくり戦略室）

キーワード

3.11 震災 地震 津波 原発事故 災害 被災  
避難所 支援 ボランティア 復興 絆 フクシマ

関連する授業：「災害看護学」「公衆衛生学」「給食経営管理論Ⅰ」  
「対象別保健指導論Ⅲ」「地域福祉論」  
「精神保健の課題と支援」「障害者福祉論」

》》 入門的な情報源 《《

【東日本大震災の概要を知るための図書の一例】

資料情報	請求記号	配架場所
『現代用語の基礎知識』自由国民社 毎年発行 ※「東日本大震災」は 2012 年版より掲載され、特集も組まれています。	R801.7/G	本館
『大辞泉』小学館 2012	R813.1/D/せ-ん	本館

「聞蔵ビジュアルⅡ」の「知蔵」も利用できます。（インターネット・学内のみ）

》》 図書を探す 《《

まずは、学内の関連図書を探しましょう。

■テーマの書架へ行って探す

【関連分野の分類番号】

369.3	災害福祉	450.98	自然災害誌
453	地震学	498.59	特殊栄養学
498.89	災害医学	519.9	防災科学・防災工学
543.5	原子力発電	N880	災害看護

■OPACで探す

→「書名」に“東日本大震災”と入れてみる。「内容細目」にチェックが入っていると、書名に“東日本大震災”の語句がなくても件名などから見つかることがあります。

更に、キーワードや分類番号を足すと「東日本大震災をどの分野から取り扱った本か」特定することができます。

→配架場所が研究室の場合は、その先生の研究室に伺ってお願いしましょう。

【図書館で所蔵している図書の一例】

内容	資料情報	請求記号	配架場所
震災の概要 (震災後 3 か月)	『東日本大震災を考える 地震・津波・原発』 東日本大震災を考える会/編著 災害対策調査会 2011	369.3/H	本館
記録写真集	『自衛隊員が撮った東日本大震災 内側からでしか分からない真実の記録』マガジンハウス/編・出版 2012	369.31/M	分館

被災地地図	『統計と地図で見る東日本大震災』衛藤英達 日本統計協会 2012	369.31/E	分館
	『東日本大震災復興支援助地図』昭文社 2011	291.2/H	本館
ボランティア 支援活動	『奇跡の災害ボランティア「石巻モデル」』中原一歩 朝日新聞出版 2011	B369.31/N	分館
	『ヒトのチカラ 東日本大震災被災地、災害ボランティアセンターで起こったいくつものドラマ』小田原きよし 三交社 2011	369.31/O	分館
	『AKB48、被災地へ行く』石原真 岩波書店 2015	B369.31/I	分館
医療・保健	『大槌町保健師による全戸家庭訪問と被災地復興』村嶋幸代ほか/編著 明石書店 2012	369.31/O	分館
	『石巻赤十字病院の100日間 東日本大震災 医師・看護師・病院職員たちの苦闘の記録』石巻赤十字病院、由井りょう子 小学館 2011	498.89/I	本館
産業・物流	『紙つなげ！彼らが本の紙を造っている 再生・日本製紙 石巻工場』佐々涼子 早川書房 2014	369.31/S	分館
原発事故	『福島原発収束作業日記』ハッピー 河出書房新社 2013	543.5/H	本館
	『福島第一原発事故7つの謎』NHKスペシャル「メルトダウン」取材班 講談社 2015	B543.5/N	本館 新書
	『フォト・ルポルタージュ 福島を生きる人々』豊田直巳 岩波書店 2014	369.36/T	本館 ブックレット
復興・行政	『東日本大震災と地域福祉』日本地域福祉学会/編 中央法規 2015	369.31/N	分館
復興・民間	『キャッシュ・フォー・ワーク 震災復興の新しいしくみ』永松伸吾 岩波書店 2011	369.31/N	分館
文芸 メッセージ	『ボランティアバスで行こう！』友井羊 宝島社 2013	913.6/T	本館
	『それでもいまは、真っ白な帆を上げよう 3.11 東日本大震災後に発信された、学長からのメッセージ』旺文社/編 旺文社 2011	377.21/O	本館
絵本	『かぜのでんわ』いもとようこ/作・絵 金の星社 2014	JE/I	本館
	『ハナミズキのみち』黒井健/絵 浅沼ミキ子/文 金の星社 2013	JE-K	本館
マンガ	『ふくしまノート』①、② 井上きみどり 竹書房 2013	726.1/I	本館
	『あの日を忘れない』（ドキュメンタリーシリーズ①～⑤）石塚夢見ほか 秋田書店 2013	726.31/A /1～5	分館
減災・防災への 提言	『新・人は皆「自分だけは死なない」と思っている』山村武彦 宝島社 2015	369.31/Y	本館

※災害時の食に関する図書はパスファインダー「災害時の食」をご覧ください。

本学にはない図書も探してみましょう。

- NDL-OPAC 国立国会図書館の蔵書目録です。国内で刊行されたほとんどの図書が検索できます。
- Webcat-Plus 「連想検索」で図書を検索できます。また、所蔵している図書館も表示されます。
- CiNii Books 「大学図書館の本をさがす」のところから日本の大学図書館の蔵書から検索でき、所蔵館が表示されます。
- 新書マップ 入手しやすく入門的資料になりやすい新書を、テーマに基づいて探すことができます。連想検索機能があり、キーワードなどから瞬時に関連図が作成されます。

### >>> 雑誌・雑誌記事を探す <<<

東日本大震災から1週間を過ぎたころより、週刊誌などに関連記事が載るようになりました。本学図書館で所蔵する雑誌では、早い段階で次のような記事が見られました。

雑誌名	記事	巻号, 年	配架場所
-----	----	-------	------

『エキスパートナース』	緊急特集！東日本大震災 今こそ“看護”が求められる	27(5), 2011.4	本館
『精神看護』	東日本大震災で揺れた私たち	14(3), 2011.5	本館
『日本医事新報』	東日本大震災第Ⅰ部緊急座談会「医療支援を振り返る」	4540, 2011.4	本館
	東日本大震災第Ⅱ部被災者を守るため、医師は動いた	4541, 2011.5	本館
『プチナース』	みんなで考えよう東日本大震災 看護学生ができること	20(7), 2011.5	本館
『地域保健』	東日本大震災 現地レポート	42(5), 2011.5	本館
『現代思想』	東日本大震災 危機を生きる思想	39(7), 2011.5	本館
『経済』	東日本大震災原発事故	189, 2011.6	本館
『世界』	東日本大震災・原発災害特別編集 生きよう！	817, 2011.5	本館
『ヘルスケア・レストラン』	東日本大震災と栄養士の取り組み	19(6), 2011.5	分館
『みんなのねがい』	いま つながろう 東日本大震災	534, 2011.6	分館
『月刊福祉』	東日本大震災—社会福祉関係者の復旧・復興への取り組み	94(8), 2011.7	分館
『賃金と社会保障』	東日本大震災と市民の支援	1540, 2011.6	分館

■雑誌記事や論文を探す

●CiNii 国内の学術雑誌・一般雑誌の論文や記事を検索できます。

→「東日本大震災 情報」と入れて検索すると、次のような論文が表示されます。(一例)

※「東日本大震災」だけでは膨大な文献がヒットしますので、キーワードを追加しましょう。

東日本震災時における福島高専のICTの活用  
 布施雅彦 日本高専学会誌 20(1), 53-58, 2015

CiNii PDF – 定額アクセス可能

このように、「CiNii-PDF」「機関リポジトリ」「CiNii-Link1」というマークがついていれば、全文を読むことができます。(有料のため見られないという例外もあります)

「CiNii-PDF 定額アクセス可能」の場合は、学内であれば、閲覧が可能です。

\*上記のようなマークが無い場合～論文詳細画面の [CiNii Books](#) のアイコンをクリックすると所蔵館が表示され、本学にある場合は「名寄市立大学図書館」が一番上にきます。その際、所蔵範囲を確認しましょう。

## >>> 新聞記事を探す <<<

最新のニュースや動向などは、新聞が重要です。読むことができる一般紙・専門誌は次のとおりです。

●原紙

資料情報	種類	所蔵範囲	配架場所
朝日新聞	一般紙	過去3カ月程度	本館
毎日新聞	一般紙	過去3カ月程度	本館
北海道新聞	一般紙(ブロック紙)	過去1年程度	本館
読売新聞	一般紙	過去1年程度	分館
産経新聞	一般紙	過去3カ月程度	分館
日本経済新聞	専門紙	過去3カ月程度	本館
福祉新聞	専門紙	2007.4-現在	分館

\*朝日新聞については、縮刷版の所蔵もあります。

(1948.1-2004.12は分館書庫、2005.1-2011.3は本館)

\*読売新聞については、2011年3月12日の原紙を保存しています。

●新聞データベース

「聞蔵ビジュアルⅡ」(学内のみ)～キーワード・日付などから検索できます。  
→「東日本大震災」と入れて検索すると、次のような記事が見つかります。(一例)

(東日本大震災5年)136万3000本 育む防災林、奇跡のマツとともに  
2016年2月6日 朝刊 1総合 1ページ

>>> 視聴覚資料 <<<

DVDなどの視聴覚資料も参考になります。次のものは館外貸し出しが可能です。

資料情報	請求記号	時間
『3.11 東日本大震災 激震と大津波の記録 KHB 東日本放送 2011』	D3-96	80分
『逃げ遅れる人々 東日本大震災と障害者』 東北関東大震災障害者救助本部 2012	D3-167	74分

>>> 専門的な情報源・統計 <<<

更に深くテーマを掘り下げるには、白書や統計、資料集などの情報源が役立ちます。

【図書館で所蔵している資料の一例】

資料情報	請求記号	配架場所
『3.11 の記録 東日本大震災資料総覧 震災編』	369.31/S	分館
『3.11 の記録 東日本大震災資料総覧 原発事故編』	369.31/S	
『3.11 の記録 東日本大震災資料総覧 テレビ特集番組編』	369.31/S	
「3.11 の記録」刊行委員会 日本アソシエーツ 2013-2014 →震災直後から2年間に報じられたものを網羅した資料集です。		
『災害と防災・防犯統計データ集 東日本大震災保存版』 三冬社 2014 →東日本大震災関連の各種データのほか、日本と世界の災害史・ 防災対策等の資料も数多く載っています。	R369.3/S/2014	分館
※各種白書・民間白書・専門事典などでも、東日本大震災に関連した 特集が組まれたり、事項解説の中で言及したりしています。		
『精神保健白書』2012年版「東日本大震災と新しい地域づくり」	R369.28/S/2012	分館
『発達障害白書』2013年版「東日本大震災での支援活動と災害への 対応策」	R378.6/H/2013	分館
『文部科学白書』2011年版「東日本大震災からの復旧・復興」 →気仙沼市立階上中学校の梶原祐太さん(当時15歳)の卒業式答辞 全文も掲載されています。	R373.1/M/2011	本館
『看護白書』2012年版「災害時における看護の力・組織の力 東日本大震災でつないだ支え合いを今後に活かす」	RN051/K/2012	本館

>>> Web サイト <<<

関連サイトには次のようなものがあります。

●復興庁 <http://www.reconstruction.go.jp/>

→東日本大震災からの復興に関する行政事務の遂行を目的とし、それまでの「東日本大震災復興対策本部」

から引き継ぐ形で2011年12月に設置されました。震災から10年となる2021年までに廃止される予定です。「ここで見える復旧・復興状況」などのページがあります。

●「ひなぎく」NDL 東日本大震災アーカイブ <http://kn.ndl.go.jp/>  
→国立国会図書館により構築されている東日本大震災の記録です。文書資料・Web サイト・写真・音声や動画・その他の資料種別ごとに検索が可能です。

●東日本大震災アーカイブ宮城 <https://kioku.library.pref.miyagi.jp/>  
→宮城県図書館により構築されている、東日本大震災の記録です。写真・動画・文書などを検索できます。

●東日本大震災アーカイブス <http://www9.nhk.or.jp/311shogen/>  
→東日本大震災で被災した人々の証言を中心に、震災が発生したときのニュース映像や復興に関するニュースなど震災にかかわる映像を公開しているNHKのサイトです。

●東日本大震災の記録/ウェザーニュース [http://weathernews.jp/quake\\_tsunami\\_311/](http://weathernews.jp/quake_tsunami_311/)  
→ウェザーニュースが震災後に調査した様々なデータを公開しています。「観測データ」「減災レポートマップ」「減災Ch」「津波調査」「震災調査」「帰宅困難調査」等の調査結果や体験談を見ることができます。

●パーソンファインダー <https://www.google.org/personfinder/japan>  
→東日本大震災の発生後、Googleによって臨時的に提供された、人の安否確認サービスです。現在、平常時には体験版としての利用ができるようになっています。

●内閣法制局  
→東日本大震災関連の内閣提出法案及び政令を見ることができます。  
[http://www.clb.go.jp/contents/diet\\_sinsai/law\\_sinsai.html](http://www.clb.go.jp/contents/diet_sinsai/law_sinsai.html)

●資源エネルギー庁 <http://www.enecho.meti.go.jp/>  
→エネルギー政策を所管する経済産業省の外局です。「エネルギー白書」の各年度版が公開されています。

## 図書館にない資料を入手するには

### ■直接利用

所蔵している図書館を調べ（CiNii Books など）直接出向いて閲覧することができます。

★北海道地区大学図書館相互利用サービス…学生証を提示し、利用登録手続きをすると、閲覧や館外貸出が可能です。（道内39大学47館）

★その他の大学図書館…おおむね、学生証の提示で閲覧が可能ですが、各大学図書館のホームページで確認してから訪問しましょう。

\*「紹介状」が必要な場合は発行しますので、カウンターで申し込んでください。

★国立国会図書館…満18歳以上であれば誰でも利用できます。

★北海道立図書館…北海道内に居住している方・帰省先などがある方は誰でも利用できます。

### ■複写取り寄せ・現物貸借

他大学・国立国会図書館・道立図書館から、資料の複写物・図書現物を取り寄せることができます。申込用紙に記入の上、申し込んでください。

\*国立国会図書館から借りた場合は、館内閲覧のみです。ご注意ください。

### ■リクエスト

要望があれば、購入します。リクエストカードに記入して申し込んでください。

\*絶版などの理由で購入できない場合もあります。